

平成29年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「イルビッド・パレスチナ難民キャンプ内診療所医療機材整備計画」
贈与契約書署名式典

2018年1月24日、日本政府の草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みにより実施される「イルビッド・パレスチナ難民キャンプ内診療所医療機材整備計画」のための50,635米ドルの贈与契約署名式典が実施されました。

本計画は、1991年の設立以来、イルビッド県のパレスチナ難民キャンプ内で医療支援を行ってきた実績のあるNGO「ファルーク孤児支援協会」が運営する診療所に医療機材(産婦人科用超音波検査器及び骨密度測定器)を配備することにより、脆弱性の高い住民への医療サービスの質の向上に寄与することを目的としています。

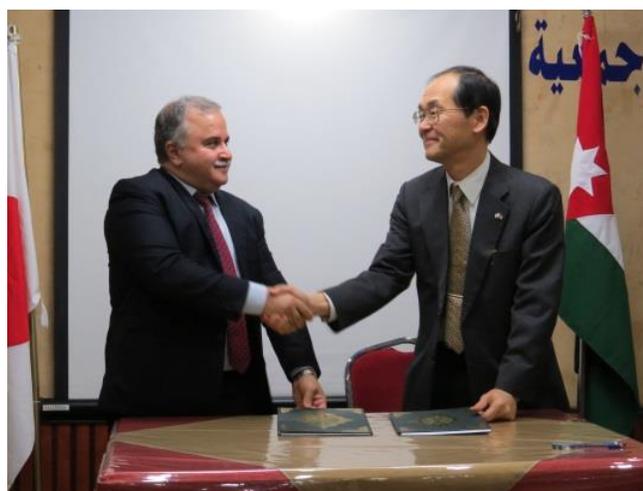
同診療所へは、平成9年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ファルーク医療センター改善計画」により日本政府から複数の医療機材が供与されており、署名式典前に実施した視察の際には、案件の実施から約20年経った現在でも、供与機材が有効活用されている様子を確認することができました。

同式典では、柳大使、フセイン・ファエズ ファルーク孤児支援協会代表が贈与契約書に署名し、大勢の式典出席者から日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。

大使の挨拶



贈与契約の締結



会場の様子



診療所視察時の様子



平成9年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ファルーク医療センター改善計画」で被供与団体に供与され、現在も引き続き診療所で使用されている機材（一例）

